

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.5)

令和3年6月29日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生量は平年並である。

2. 情報の根拠

- (1) 6月下旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は821.4頭（平年：961.8頭）で、平年並である（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生量は平年並と予想される。

表1 ニセナシサビダニの発生消長（園芸試験場）*

月・旬	本年**	平年***
5・上	7.4	4.5
5・中	2.8	8.4
5・下	125.0	88.5
6・上	421.2	346.7
6・中	573.8	632.3
6・下	821.4	961.8

*：殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

**：R3年度より調査樹を変更

***：平年値は過去3年（H30年～R2年）の調査結果から算出

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晚の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止時期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は、追加防除を行う。

(参考)

防除区（5月19日、6月9日にハチハチフロアブル2，000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生消長

表2 ニセナシサビダニの発生消長（園芸試験場）*

月・旬	防除区	無散布区
5・中	1.2	2.8
5・下	0.2	125.0
6・上	0	421.2
6・中	0	573.8
6・下	11.8	821.4

*：1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

要約：6月下旬現在、防除区のニセナシサビダニの発生量は無散布区に比べて少ない。